

令和4年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより

みなみかぜ



# 南風

第 1 号

令和4年4月8日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

<学校教育目標> 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

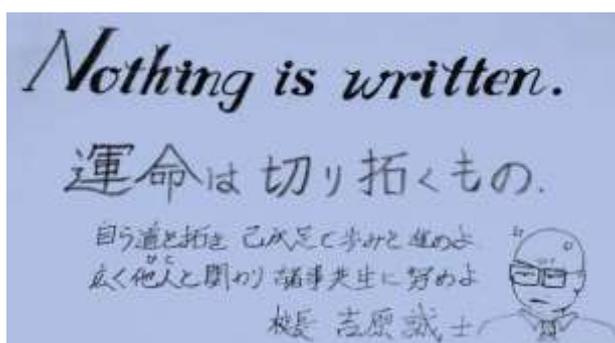
## 新年度のスタートにあたって

校長 吉原 誠 士

1年生の保護者の皆様におかれましては入学おめでとうございます。2年生、3年生の保護者の皆様におかれましては進級おめでとうございます。与野南中学校教職員一同、心からお祝い申し上げます。これからの共に過ごす学校生活を実りあるものにすべく、教育活動に邁進して参ります。

年度の始まりは様々な出会いからスタートします。教室には初めて出会った人、それ以外に小学校時代の仲間、旧クラスの友だちなど、よく知り合う同士も存在しているはずです。しかし、自分も含めたそれぞれの生徒が、新たな自分を築こうという決心を胸に秘めていることでしょうか。以前からよく知っている人であっても、他人が自分をリセットして、新たな生き方、やり方で出発しようという心意気を邪魔する権利はありません。特に4月は決意して、実行に移すのに最適な時期なのです。

恒例となっている“新入生への激励の言葉”は、生徒用玄関を入った正面に掲示してあります。私は、右のようなメッセージに思いを託しました。「Nothing is written.」は、映画「アラビアのロレンス」の中のセリフです。舞台となった砂漠で、ラクダから落ちて、仲間達から「それが彼の運命なのだ」と見捨てられた部下を、主人公のロレンスは一人で探しに出かけます。やがてその男を連れて戻ってきた時に発したのがこの一言でした。映画の字幕では「運命は切り拓くものだ」と格好のいい



意識が表示されます。直訳は「何も書かれていない」（英語の言い回しをそのままだと「何もないが書かれている」）です。これは新1年生だけでなく、2年生にも3年生にも送ることを意識しました。

私たちは自分の運命を自分で決定することができます。まだ訪れぬ未来のことだから当然です。言い換えると、今この瞬間にでも何らかの行動を起こせば、自分の将来はどのようにでも変えられるのです。そして、これから先の一瞬一瞬に生じる様々な結果から分岐が生じ、さらに次の方向を定めることになります。どこを探しても決められた結論など「何も書かれていない」のです。

共に初日を迎えた仲間を尊重してほしい、というのが私からのお願いです。気持ちも新たにリスタートを切ろうとしている全ての南中生が、相互に守るべき約束だと心得てもらいたいのです。以前からの知人であろうとなかろうと、過去をとやかく探ったり、噂話のネタにしたり、根も葉もない話を広めてみたり、話もしていない人をちょっと見ただけで勝手に評価したり、といったことは厳に慎んでください。ましてや、SNSを使って匿名で他人を中傷するような卑怯な人間にはならないでください。メッセージには私自身の言葉も添えてあります。「広く他人と関わり 諸事共生に努めよ」とは会話を大切に他人のあり方をも大切にせよという意味です。それが保証できれば、「自ら道を拓き 己が足で歩みを進めよ」ということも可能になります。希望あふれる学校生活を送れることを信じています。

～ 例年の年度当初は学校経営方針を述べていましたが、機会を見ながら紹介して参ります。～

地域、そしてご家庭の皆様、お世話になります。今年度もよろしくお願ひいたします。